

| | | | | |
|-----|--------------------------|----|---|---------|
| 開催日 | 平成26年8月27(水) 14:00~16:00 | | | |
| 会場 | 四谷特別出張所 会議室 | | | |
| 出席者 | 委員 | 9名 | 他 | 出張所職員2名 |

主なテーマ

- 1 玉川上水まち歩き、冊子作りについて
- 2 9月20日まち歩きについて
- 3 その他

1 玉川上水まち歩き、冊子作りについて

田中リーダーと清水委員が水道歴史館を訪問し、入手した資料と学芸員からの話をもとに、別途送付済みの資料にまとめた。この資料について田中リーダーが解説し、意見交換を行った。

- (1) 玉川上水を見直すことで地域住民が四谷を誇りに思えるような冊子作りを目指す。
- (2) 入手した資料はやや難しい基礎知識なので、四谷らしい特徴を加筆し小学校4年生程度が理解できる内容とした。
- (3) オリンピック来訪者の四谷訪問を促進するため、外国語に翻訳した冊子を次期オリンピックまでに完成させる。
- (4) 新宿御苑の眺望を楽しみながら東京水の試飲、四谷名産の菓子の試食をしてはどうか。(地域センターの談話コーナー、ホワイエのロビー、消防博物館展望室等) 暑い時期に施設に入って涼みながら話を聞くこと、水分補給をし菓子を食することは必要である。
- (5) 桜についての諸説
水辺は厳格に管理されており草木を植えることも禁じられていたので、桜を植えることは不可能である。現実には存在しなかったのではないか。
- (6) 最近の研究では安藤広重の浮世絵の通り桜は存在し、並木道があったという説がある。一年のみ植えて伐採されたが、広重は実在した桜を描いたと思われる。
- (7) 当時桜を植えて育てるという発想はなく、吉原での例にあるように花見の時期のみ移設した。しかし水辺に木を植えることは法で禁じられており、結局は伐採された。
- (8) 桜についてはどのように紹介するか検討する必要がある。
- (9) 投げ込み寺については言及しない。
- (10) 開渠から石樋に流れ込む部分の水量は多かったが、急激な流れではなかったと思われる。ただし水圧は高かったのではないか。
- (11) 木碑に水が流れている資料や配置図は今回調べたものにはなかったため、木碑についての詳細には言及しなくていいのではないか。
- (12) 江戸時代の水道料金についてのエピソード、暗渠にした理由、井戸の保守についての自治意識の強さも興味深い。
- (13) 四谷は木碑の原料である木材の集積地だったのでは、と推察される。木材を飯田橋まで船で輸送し、大きな河川のない四谷には、加工した(切断した)木材を運んだ

のではないか。

- (14) 玉川上水の船の運航は水質汚染防止のため、すぐに中止となった。
- (15) 木碑についてはある程度補修工事を行ったが、耐用年数が短く一定期間で交換した。石碑は壊れた場合のみ修理した。竹碑は耐用年数に応じて交換した。
- (16) 外堀工事は短期間（約一年）であったため、工事終了後に大きな仕事がなくなった石工の中には四谷に住み着いた者もいたのではないか。
- (17) 水見枿では目視で水質調査をし、水漏れについても点検した。異常あれば開けて修理した。
- (18) 絵や写真を多用し見て分かりやすい資料を作成する。文章はキャプションをつける程度にとどめる。
- (19) 年内に冊子のもとになる資料を作り、来年に印刷し年度内に仕上げる。
- (20) 委員の元に関連する冊子や切り抜きがあれば、また資料がある場所がわかれば、リーダーに連絡する。
- (21) 水道局制作のアニメーションから画像を切り取り、2頁程の紙芝居風(漫画風)の資料にすると外国人や子供にもわかりやすい。
- (22) 内藤新宿の桜、水車、湯屋横丁、上水井戸、舟板横丁、石切横丁、四谷見附懸樋等を盛り込み8～9頁見開きの冊子（玉川上水物語2頁）を作成する。

2 9月まち歩きについて

- (1) 8月27日現在、17名の申込み
- (2) タイムスケジュール
10時集合→消防博物館（50分）→移動（10分）→民音博物館（50分）→移動（20分）→新宿歴史博物館（50分）、13時頃から茶話会
- (3) 民音博物館では演奏プログラムを鑑賞する。（年代ごとのピアノ演奏）
- (4) 民音博物館への依頼状は田中リーダーが提出済み。
- (5) 茶菓については、集合時に消防博物館で希望を聞く。
- (6) 茶菓は「森八」の「秋の宝達」を候補とする。
- (7) 今回のまち歩きは2班に分かれ、路地は通らず大きな歩道を歩く。
- (8) 委員参加は約6名の予定。
- (10) 9月に齋藤先生と外国人向けのまち歩きを行う。

3 その他

- (1) 旗の製作について
これまでは育成会の旗を借りていたが、今後長く使用することもあり、今期に旗を2本製作する。
ア) 旗の製作費は、助成金の今年度予算の冊子印刷費の一部を充当する。
イ) 伸縮棒については、来年度の助成金の予算に計上する。
ウ) 今年度は旗に付属のポールを使用する。
エ) ロゴは田中リーダーが作成し、業者に発注する。
- (2) まち歩き参加者のシールについて

今後は【吊り下げ名札】を利用し、まち歩き終了時に必ずすべて回収する。

【次回以降の日程】

会議 9月25日（木） 10：00～ 四谷特別出張所会議室